

スモールコンセッションプラットフォーム 設立記念シンポジウム

政府は、官民が連携して遊休公的施設の活用を図る「スモールコンセッション」を推進し、地域課題の解決やエリア価値の向上など地方創生に取り組んでいます。しかしながら、事業の進め方が分からない、官民の連携体制が構築できない等の課題があることから、その解決を図るべく、今般、産官学金等の多様な主体が参加・連携する「スモールコンセッションプラットフォーム」を設立します。今回、その設立を記念してシンポジウムを開催します。

日時 2024/12/16 (月)
13:30-16:10 (13:00開場)

参加費 無料

開催方法 現地会場・オンライン併用
(オンラインはZoomウェビナーを予定)

現地会場
秋葉原コンベンションホール
(東京都千代田区外神田1-18-13)

JR「秋葉原」駅 徒歩 1分
東京メトロ銀座線「末広町」駅 徒歩 3分
東京メトロ日比谷線「秋葉原」駅 徒歩 4分
つくばエクスプレス「秋葉原」駅 徒歩 3分



“スモールコンセッション”とは・・・

廃校等の空き施設や地方公共団体が所有する古民家等の空き家について、民間事業者の創意工夫を最大限に生かした小規模な官民連携事業により、地域課題の解決やエリア価値の向上につなげる取組です。

城下小宿 菟や (津山市)
伝建地区に立地する寄付された町家群を宿泊施設として整備・運営し、地域経済を活性化

THE 610 BASE (福知山市)
廃校をいちご摘み体験ができる農園やカフェ等として利活用し、地域の賑わいを再生



写真提供：津山市 写真提供：福知山市

スモールコンセッションプラットフォーム

■メンバー構成
産官学金等の多数の団体・個人の参加を想定

地方公共団体等
民間団体
産官学金等による連携・活動
学識経験者
金融機関等

機運醸成・情報共有 調査・研究 案件形成に向けた活動



プログラム

挨拶	国土交通省・内閣官房・内閣府（関係大臣など） プラットフォーム運営委員会・委員長
趣旨説明	国土交通省
基調講演	「スモールコンセッションの実践と可能性」 東北芸術工科大学 デザイン工学部建築・デザイン学科 教授 (株式会社オープン・エー代表取締役) 馬場 正尊 氏
パネル ディスカッション	① スモールコンセッションによる地方創生に向けた地域企業の参画 ② スモールコンセッションにおける資金調達や金融機関の関わり方 ③ スモールコンセッションを推進するための人材・組織のあり方 ※各テーマの登壇者は裏面をご覧ください。

※プログラム終了後、名刺交換の時間を設けております。

参加申込

会場参加はこちら▼

オンライン参加はこちら▼

締切：
12/10 (火) 17:00

先着 定員200名
<https://forms.office.co/m/e/f7VG6zBgaf>



制限なし
<https://forms.office.co/m/e/PeSmSp7mTE>



登壇者プロフィール

基調講演

「スモールコンセッションの実践と可能性」



馬場 正尊 氏

東北芸術工科大学
デザイン工学部建築・
デザイン学科 教授
オープン・エー代表取締役

博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2003年OpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行い、同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。2015年より公共空間のマッチング事業『公共R不動産』立ち上げ。2017年より沼津市都市公園内の宿泊施設『INN THE PARK』を運営。

パネルディスカッション①

スモールコンセッションによる地方創生に向けた地域企業の参画



横山 幸司 氏

滋賀大学 経済学部
教授 / 産学連携
推進機構社会連携
センター長

行政職員として国、県、市、町村など地方自治の全層の勤務を経て2013年より現職。専門は地方自治、公民連携等。各種委員や講演等で延べ410以上の地方公共団体に関わる。スモールコンセッションの推進方策に関する検討会座長等公職多数。



宮澤 伸 氏

日本商工会議所
地域振興部長

中小企業の活力強化・地域経済の活性化をミッションとする商工会議所において、まちづくり、観光、産業立地、社会資本整備等に関する調査研究・政策提言を担当。「地域企業でできることは地域企業に任せる」ローカルファーストの視点から、地域企業主導型PFIを提言。



土田 信広 氏

京都府福知山市
財務部資産活用課
課長補佐

民間企業での約10年間の勤務後、2013年に社会人採用で京都府福知山市入庁。資産活用課に新設された公民連携係に2020年より着任。金融機関との公民連携や関西初となる廃校マッチングバスツアー等、廃校Re活用プロジェクトを推進し、「行革甲子園2024」でグランプリを受賞。

パネルディスカッション②

スモールコンセッションにおける資金調達や金融機関の関わり方



根本 祐二 氏

東洋大学
PPP研究センター長

日本政策投資銀行地域企画部長を経て、2006年東洋大学経済学部教授に就任。専門は、公民連携、地方創生、インフラ等。民間資金等活用事業推進委員会委員長代理、官民連携事業推進検討委員会委員長等公職を歴任。



福島 隆則 氏

株式会社三井住友
トラスト基礎研究所
PPP・インフラ
投資調査部門長 理事

国内外の投資銀行での勤務を経て現職。東京都国際金融フェロー。内閣府「民間資金等活用事業推進委員会」専門委員、文部科学省「PFI検討会」委員、国土交通省「不動産証券化手法等による公的不動産(PRE)の活用のあり方に関する検討会」委員等歴任。



中嶋 善浩 氏

株式会社民間資金等
活用事業推進機構
官民連携支援
センター長

民間金融機関にて国内外PPP/PFIを含むプロジェクトファイナンスのアレンジ・エージェント・審査業務等に従事後、2019年に(株)民間資金等活用事業推進機構に入社。同社ではPFI事業向け出融資業務の担当を経て、2024年5月より現職にて官民連携に係る自治体支援業務に従事。

パネルディスカッション③

スモールコンセッションを推進するための人材・組織のあり方



川口 義洋 氏

岡山県津山市
総務部財産活用課長

1999年津山市役所に入庁以来、建築営繕、建築指導部門の業務に携わる。2015年にFM部門立ち上げに伴い財政課に異動。津山市で実施した2つのコンセッション「旧荻田家付属町家群を活用した施設の管理運営事業」「グラスハウス利活用事業」に関わる。



入江 智子 氏

株式会社コーミン
代表取締役

大阪府大東市に入庁し、建築技師として学校施設や市営住宅等の営繕業務に従事。2017年に稼ぐ公民連携のエンジン役となるまちづくり会社へ出向し2018年より現職。民間主導の市営住宅建替えによりエリア価値を向上させるmorinekiプロジェクトを実施。



林 有理 氏

有理舎/
公共R不動産シニア
ディレクター

元SUUMOマガジン編集長。大阪府四條畷市前副市長。リノベーションまちづくり分野で地域と遊休不動産をつなぐ社団法人の広報や、プラットフォーム立ち上げ等に尽力。地域づくり研究や自治体活性支援の有理舎主宰/エン・ジャパン社外取締役など多数兼務。

【お問い合わせ先】スモールコンセッションプラットフォーム事務局

- 国土交通省総合政策局社会資本整備政策課

TEL : 03-5253-8111

Email : hqt-smcn_pf @ gxb.mlit.go.jp ※「@」を「@」に置き換えてください。

- 内閣府民間資金等活用事業推進室

プラットフォームHP公開中!

<https://www.mlit.go.jp/smcn>